

「車」

—初稿—

2024/5/31

月三

へ人物表へ

佐久間玲子 (28)

謎の男 (35くらい)

へログラインへ

佐久間玲子は見知らぬ場所で謎の男と車に取り残され、衝動的に男を殺してしまふ。

へねらいへ

嘘か真実かわからない、闇と謎が生む恐怖を描く

1. 車内（夜）

真っ暗な車内。

警告アラームが鳴り響く。

佐久間の声「（眠りから覚め、意識を取り戻して）はっ！」

荒い女性の息が響く車内。

バックミラーを動かす女性の手。

ミラーに映る佐久間玲子（28）の顔。

開いている運転席のドアを閉めるとアラーム音が鳴り止む。

佐久間はヘッドライトのスイッチを回す。

2. 道（夜）

照らされた道路は山の中。

街灯さえない獣道。

3. 車内（夜）

車内の佐久間、その後ろに影が映る。

佐久間がばつと後部座席を振り返ると顔に黒い袋を被った謎の男（35）が座っている。

佐久間「誰た！」

男から反応はない。

急いで車の外に出る佐久間。

4. 道（夜）

ウロウロと動き回る佐久間。

立ち止まり、

佐久間「（大声で）誰かいますか！ 誰か！」

風の音、フクロウの声。

5. 車（夜）

後部座席のドアを開ける佐久間。

男は微動だにしない。

男の両手が紐で結ばれているのを見る佐久間。  
後部座席のドアを閉める。

運転席に座り後ろの男を見て、ドアを閉める佐久間。助手席に血がついている。

ダッシュボードを開けると録音レコーダーと車の鍵と血のついたナイフが入っている。

佐久間は鍵を取りエンジンをかける。

車は唸るがエンジンがつかない。

佐久間「お願い……」

佐久間は何度もエンジンをかけるがかからない。

佐久間は大きく息を吐く。

録音レコーダーに手を伸ばし、その再生ボタンを押す。

佐久間の声「失敗したのね。早く武器を用意して。後ろの男の顔を絶対に見てはいけない」

血のついたナイフを手に取り、顔の前にかざす佐久間。

それを助手席に置く。

佐久間の声「顔を見たら死ぬ。そして、絶対に男を逃してはいけない。もし逃したら……」

ジリジリと音がし、録音レコーダーの音が切れる。

何度も再生ボタンを押す佐久間。

佐久間は慌ててもう一度車のエンジンをかける。

エンジンの音が鳴る、が途中で止まる。

佐久間「お願いお願いお願い！」

ハンドルをガンガンと叩く佐久間。

エンジンはかからない。

ハッと後ろを見る佐久間。

微動だにしない男。

前を向きハンドルを握りしめる佐久間。

謎の男の声「あの」

はっと顔を上げバックミラーを見る佐久間。

助手席のナイフに目をやる。

謎の男「これをとってください。息が苦しい」

佐久間「じゃあ答えて」

無言の男、息が荒い。

佐久間「あなたは誰？」

謎の男「私を逃してくれませんか」

佐久間「質問に答えてない。あなたは誰？」

謎の男「本当に覚えてない？」

佐久間「何を？ 質問に答えて」

謎の男「あなたの……恋人です」

佐久間「私に恋人はいない」

謎の男「ポケットを見てください」

佐久間、ポケットを探る。

写真が入っている。

そこには佐久間と一人の男が写っている。

謎の男「玲子、お願いだ」

佐久間「これがあなた？」

謎の男「そうだよ」

佐久間「私を知っている？」

謎の男「俺だよ。助けてくれ玲子」

佐久間「どうやってこれがあなただとわかる？」

謎の男「この袋を取ってくれ」

佐久間「それはできない！」

謎の男「顔を見て確認してくれ！」

謎の男は唸りながら、頭の袋を取ろうとする。

佐久間は男の頭を押さえつける。

佐久間「やめて」

男は涙声で、

謎の男「玲子、信じてくれ。俺だよ」

佐久間「（悲鳴のような声で）じゃあ信じさせてよ！」

謎の男「どうやって」

佐久間、男の首を絞める。

手を緩めると咳き込む男。

男は泣きながら。

謎の男「玲子、君は何も失敗なんてしてない。二人しかいないん

だよ」

動揺した顔で男を見る玲子。

謎の男「助けてくれ。お願いだ……」

謎の男は泣きながら懇願する。

玲子は黙って男から離れ、頭を抱える。

佐久間「あなたは何をしたの？」

男は泣いている。

## 7. 車・外（夜）

強い風の音がする。

## 8. 車内（夜）

呆然と運転席座っている玲子。

謎の男「俺を殺すのか？ あいつみたいだに」

佐久間「あいつ？」

謎の男「それも忘れたのか？」

佐久間「何を言っているの？」

謎の男「助手席を見ってみろ」

血に染まった助手席を見る佐久間。

と、車の外から砂利を踏み締める音が聞こえてくる。

車のドアを叩く音。

息を飲む佐久間。

ガラスを見つめるが誰もいない。

ゆっくりとドアを開く。

と、反対側から砂利の音。

慌てて車外に出る佐久間。

## 9. 道（夜）

ナイフを構え、外をゆっくりと歩く佐久間。

土の上にボイスレコーダーが落ちている。

佐久間の後ろで木の枝を踏んだパキッという音。

はっと後ろを振り返る佐久間。

車から警告アラーム音が響き始める。

ナイフを構えゆっくりと車に近づく佐久間。

が、佐久間は転んでしまう。

ナイフを落とし。パニックになる佐久間。

荒い息でナイフを探し回る。

ナイフを見つけ、拾うがまた転んでしまう。

と、後ろから男の縛られた両手を首に巻き付けられ、首を絞められる佐久間。

息ができない佐久間。

と、男が手を緩める。

佐久間は咳き込む。

男は荒い息の佐久間の前に座る。

(男は頭の袋が取れているが背中と後ろ頭しか見えない)

謎の男「どうする？」

佐久間「なぜ顔を見せたの」

荒い息をする佐久間。

土に落ちているナイフを見る。

謎の男「俺を殺す？」

佐久間、ナイフを手に持つ。

謎の男「できるのか？」

佐久間、ナイフを見つめる。

そして、それを強く握り男の首を刺す。

横に崩れ落ちるように倒れる男。

こおろぎの声と佐久間の息だけが響く。

立ち上がりあたりを見渡す佐久間。

手に持ったナイフから血が滴り落ちる。

手のナイフを見て、驚いて落とし後ろに下がって

く佐久間。

その背中が車にぶつかる。

何かを踏んだ音がして息を呑む。

靴をずらすと音声レコーダーが潰れている。

## 10. 道(夜)

真っ暗な山道にドアの空いた車が止まっている。

車の中には誰もいない。

強い風の音が響いている。

(完)